

『風水パワースポット紀行』の著作権侵害～風水パワースポット神社.comについて

数	都道府県	神社名	『風水パワースポット紀行』本文からの引用
1	北海道	北海道神宮	典型的な「平地龍」(へいちりゅう)で、なだかな円山の傾斜からエネルギーが北海道神宮へと流れ込んでいる
2	青森	十和田神社	山脈に挟まれた場所を「過峡(かきょう)」といい、二重橋のような形をした地形との組み合わせを『馬跡崩洪(ばせきほうこう)』と呼ばれます。
3	岩手	中尊寺	龍脈の先にて龍に飲み込まれるような地形をしているこの地は、大きな財を成す吉相とされ『正飛龍形(せいひりゅうけい)』と呼ばれます。
4	山形	熊野大社	パワーを半減する問題点が2つ。それは、北東に流れる北上川が、反り返った弓の形の「反弓水」をしている点。カーブの内側にあれば「吉」となりますが、その反対に位置しているため風水では「凶」と見ます。また、龍脈の首あたりをちょうど道路が通っています。これは「斬龍」と呼び、風水的には
5	福島	沼御前神社	巻末リストに同じ場所
6	東京	浅草寺	古代の象徴の1つである「ウロボロス」にも見えます。ウロボロスとは「尾を飲み込む蛇」を意味し、「シと再生」「不老不シ」の象徴でもあり、始まりも終り
7	神奈川県	飯山観音長谷寺	龍脈と見られる山が無い関東平野の真ん中にも、『平洋格局(へいようかつきょく)』と風水で呼ぶパワースポットが形成されます。この浅草寺では、風水
8	神奈川県	大山寺	風水古典図に見る『四神相応(しじんそうおう)』の吉相地形ができています。白山の中腹に位置する「飯山観音 長谷寺」は、まさにパワースポットの
9	埼玉	三峯神社	龍穴に位置しているのが分かります。
10	栃木県	大平山大中寺	巻末リストに同じ場所
11	群馬県	榛名神社	風水古典図に照らし合わせると『覆地金甌龍(ふくちきんおうりゅう)』と酷似しています。
13	長野県	戸隠神社奥社	*風水パワースポットとして紹介
14	長野県	善光寺	榛名富士とも呼ばれる榛名山からエネルギーが流れ、そのまま榛名湖へと潜り、気が流れてきています。このような地形を風水では『潜龍入首(せん
15	新潟県	弥彦神社	*風水パワースポットとして紹介
16	富山県	立山寺	巻末リストに同じ場所
17	石川県	白山比咩神社	小さな山が右手に見えます。この案山は「一字文星(いちじぶんせい)」と呼ばれる形をした吉相形をしています。
18	福井県	永平寺	巨大な活龍からあふれ出るエネルギーの恵を受けたパワースポットです。
19	静岡県	愛鷹山水神社	風水古典図では『竹高打蛇形(ちくこうちょうだけい)』と呼ばれます。この蛇の頭の部分に白山比咩神社が建てられてパワースポットとしてエネルギーに
20	岐阜県	桜山八幡宮	『太陽穴(たいようけつ)』とも呼ばれる龍穴(パワースポット)です。
21	愛知県	山神社	風水古典図では「ちょう竹杖(ちょうちくじょう)」と言い、長く棒状の龍脈が走っています。
22	三重県	伊勢神宮	巻末リストに同じ場所
23	三重県	金剛證寺	風水古典図で見ると、これは『中關(ちゅうかん)』です。山のないこのような平坦地でも風水を使えば龍穴を形成することができるのです。
24	大阪府	高仙寺	伊勢神宮 外宮においても、風水古典図で言う『生龍形(せいりゅうけい)』と呼ばれる地勢を形成していて良質なエネルギーが溢れるパワースポットと
25	京都府	南禅寺	朝熊ヶ岳(あさまがたけ・朝熊山:あさまやま)から伸びる龍の頭が伊勢神宮で尻尾が金剛證寺に位置します。
26	京都府	鞍馬寺	風水古典図に照らし合わせると『烏鴉頸穴(うあけいけつ)』と酷似しています。このカラスの頭部に位置する場所に龍穴(パワースポット)があり、その
27	京都府	清水寺	巻末リストに同じ場所
28	兵庫県	鷲林寺	風水古典図では『脱殺穴(だつさつけつ)』という吉相の地形です。丸い高台の下に龍脈(パワースポット)が形成されます。
29	滋賀県	三井寺	巻末リストに同じ場所
30	奈良県	円成寺	風水古典図で言う理想的な『四神相応(しじんそうおう)』を形成し、龍穴(パワースポット)部分に鷲林寺が建てられています。前方の甲山(かぶとや
31	奈良県	弘仁寺	ま)は、案山としてエネルギーの流出を防いでいます。
32	和歌山県	金剛峰寺	二つの龍脈に挟まれるような地勢の間に位置する龍穴(パワースポット)に三井寺が位置しています。如意ヶ岳(にょいがたけ)から琵琶湖に向かう龍
33	鳥取県	大神山神社	背後に龍脈となる山があり、正面には池がある円成寺は、風水では『背山面水(はいざんめんすい)』と呼ばれます。面の部分が「明堂(めいどう)」と呼
34	島根県	出雲大社	*風水パワースポットとして紹介
35	岡山県	菩提寺	高野山には複数の龍脈が、金剛峰寺を中心にして集まってきています。これは風水古典図で『五龍聚會形(ごりゅうしゅうかいけい)』と言います。五龍
36	広島県	厳島神社	風水古典図では『土星四』という形ができています。
37	広島県	大聖院	風水古典図では『四神相応』を形成していますが、他にも水の流れに囲まれた『山環水抱(さんかんすいぼう)』や弧を描く川の内側の『有情』と呼ぶ吉

38	山口県	龍蔵寺	風水古典図に照らし合わせると『長鉗穴(ちょうかんけつ)』の構図と一致しており、龍穴(パワースポット)を左右の山が守るような地形は『四神相応』
39	徳島県	葉王寺	風水古典図『右仙弓(うせんきゆう)』と合致することがわかります。この場合、龍穴(パワースポット)は右側の青龍に位置します。
40	香川県	大窪寺	風水古典図にある『楊柳枝龍(ようりゅうしりゅう)』を形成しています。
41	熊本県	雲巖禅寺	金峰山から島原湾へと龍脈が流れ雲巖禅寺へとエネルギーが貯まる龍穴(パワースポット)を形成しています。風水古典図では『燕巢穴(えんそうけつ)』
42	宮崎県	生目神社	巻末リストに同じ場所
43	鹿児島県	蒲生八幡神社	風水古典図では『黄蛇かん蛤形(おうだかんこうけい)』と呼びます。蒲生八幡神社は正にこの龍の頭の部分に位置しています。
44	鹿児島県	霧島神宮	巻末リストに同じ場所
45	沖縄県	斎場御嶽	*風水パワースポットとして紹介
46	福岡県	光明禅寺	風水古典図では『正飛龍形(せいひりゅうけい)』の構図をしています。
47	福岡県	千如寺	風水古典図では『回龍顧子形(かいりゅうこしけい)』と呼ばれます。
48	佐賀県	宝当神社	水古典図を見ると『折脚文星(せつきやくぶんせい)』と呼ぶ龍穴(パワースポット)を形成しています。
49	佐賀県	鏡山神社	巻末リストに同じ場所

33 黒文字
10 青文字
6 赤文字

49

『風水パワースポット紀行』本文内容の無断転載・引用、及び山道帰一の風水判断が無断で使用されている
『風水パワースポット紀行』巻末紹介のパワースポット20から同じ場所が無断で使用されている
『風水パワースポット紀行』本文内容を変えて紹介。

『風水パワースポット紀行』では、神社仏閣を54箇所紹介しております。うち、49箇所が重複するだけではなく、本文内容の無断転載・引用、以下内訳です。

『風水パワースポット紀行』内で、紹介している神社・仏閣総数54箇所
『風水パワースポット紀行』内で、文章にて解説している神社・仏閣総数38箇所中37箇所が「風水パワースポット神社.com」より無断引用
『風水パワースポット紀行』内で、巻末にて紹介している神社・仏閣総数15箇所中12箇所が「風水パワースポット神社.com」より無断引用
『風水パワースポット紀行』では、神社仏閣を54箇所中49箇所が重複するだけではなく、本文内容の無断転載・引用、及び山道帰一の風水判断が無断で、そのまま使われております。

尚、この「風水パワースポット神社.com」は80箇所をWebサイトで紹介しているが、その内49箇所が『風水パワースポット紀行』と同じ場所を紹介している。実に61%が一致します。また、一番の問題となるのは、60箇所を紹介した本文中の33箇所における本文文章の無断転載である。

苦情

神社仏閣に的を絞ったサイトなので、『風水パワースポット紀行』内で神社仏閣として、紹介している実に54箇所中49箇所がそのまま同じ場所というのは、実に91%の一致であり、そんなことはパクリ以外にありえないでしょうし、本文から無断で、山道帰一の風水判断を転載していることから、明らかであります。

特に赤字の場所は、山道帰一としては勝手な風水判断で、まったく持って『風水パワースポット紀行』の紛い物の風水サイトに気分を悪くしております。

わりも無い完全なものといった意味もあります。沼沢湖に伝わる大蛇伝説とも繋がりを見せ、とても興味深い場所ですね。
水古典図に見られる「右かん中(うかんちゅう)」と一致しています。

りゅうにゆうしゅ)』と言います。

:満ちた場所となりました。

なっています。

)場所に高仙寺が建っています。

』の姿が、衛星写真からも見てとれるでしょう。風水古典図では『衆龍相會形(しゅうりゅうそうかいけい)』と呼びます。
ぶ龍穴(パワースポット)となります。

龍が集まる様子から龍穴(パワースポット)が成り立っています。

i相の構造をしています。

ま巖島神社が位置しています。

も形成されています。

つ)』と呼びます。

- ・転載
- ・転載